



「みたまのふゆ」とは、私共が常に蒙りいただいている大神様の恩徳、加護、御神威を尊称した言葉です。人間は自分ひとりの力で生きてゐるのではなく、つねに「みたまのふゆ」をいただいで、生かされてゐるのです。



新装の御社殿内部です。参拝いただいた皆様様の着席される拝殿より、祝詞を奏上する幣殿、さらに奥の本殿大床と御扉を臨んだところです。

### 平成御修営事業竣工 御協賛を感謝申し上げます

昨年六月二三日、仮殿遷座祭を齎行して着工いたしました御社殿の御屋根替へと幣殿脇拡張、本殿内陣新調を中心とする平成御修営事業は、予定工期通りに進捗し、年末には竣功の運びとなり、旧臘一六日には本殿遷座祭を齎行、仮殿に奉安の神御を檜の香りも新たな御神座にお遷し申し上げます。

偏に御協賛を賜った多くの皆様様の篤いお志のお蔭でありまして深甚の感謝を申し上げます。新年の初詣からは新装の御社殿でお参りいただき、ことに昇殿御祈願の皆様には、建具をガラス戸に改修して明るくなった拝殿にて、御祈願をお受けいただきました。

御修営により御神威も新たに弥益していただき、皆々さまにも一層のご加護を頂戴できることと存する次第です。(宮司)

#### 平成二十五年度祭事曆

- ◎ 一月 一日 歳旦祭  
鶏鳴神事
- ◎ 三月二〇日 春季大祭  
祈年祭・合祀神例祭
- ◎ 五月一日 例大祭  
神社本廳献幣使参向
- ◎ 六月三十日 大祓式  
琵琶島弁天社へ神輿渡御
- ◎ 七月 七日 天王祭出御祭  
大祓人形納め・茅の輪神事  
本社神輿御霊入・宮出渡御
- ◎ 七月 九日 三つ目神楽  
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 七月一四日 天王祭巡幸祭  
天王神輿町内巡幸
- ◎ 七月二一日 手子神社例祭
- ◎ 九月一七日 熊野神社例祭  
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 一〇月一三日 手子神社秋祭  
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 十一月一五日 七五三祭
- ◎ 十一月二三日 秋季大祭  
新嘗祭
- ◎ 二月 八日 歳の市  
開運熊手授与
- ◎ 二月二三日 天長祭
- ◎ 二月三一日 大祓式  
大祓人形納め・古札焼納式
- ◎ 毎月 一日 月次祭

平成二十四年十二月十六日  
「本殿遷座祭」の記録

歳末も押し迫った時期になりましたが、新年を新しい御社殿にてお迎へするべく工事を督促し、十二月中旬にて竣功して、十二月十六日に「本殿遷座祭」を齎行しました。

昨年十二月は寒気の厳しい日々が続いたのですが、当日は穏やかな日和に恵まれ、恙なく祭事を執行することができました。

◎ 午前中より奉仕会の会員により、本殿と本殿を結ぶ遷御道に蓆を敷き、竹をたててしめ縄を廻らして準備が進みます。

来賓席のテントも境内上段、下段両方に張り、紅白幕を廻らせました。

午後になると、助勤の神職の方々もお見えになり、奉仕の総代、



玉垣會、扇會、作務の会の会員たちも集合して、祭儀の習礼が行われました。

◎ 午後五時ころ、十二月の日没は早く、あたりは暗くなり始めます。

来賓の方々もお見えになる頃で、受付担当総代と婦人部野の花会の会員が受け付け作業を開始します。神職とその他の総代と奉仕担当のものたちは瀬戸町内会館に集合し、着装します。

午後五時三十分、着装を終へて諸員は町内会館玄関にて手水を使用し、整列します。

